

8 月度理事会議事録 (2021 年 8 月 17 日 (火) 開催)

(新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大のため、8 月度理事会は、ビデオ会議システムにて開催した。)

1. 会長報告 (7 月 13 日 (火) ~8 月 16 日 (月) 出席案件)

- ・7 月 13 日 (火) 日本人会・理事会 (ビデオ会議システム)
- ・7 月 27 日 (木) 在タイ日本国大使館主催・日本人会運営協力
「在タイ邦人の皆様へのワクチン接種に関して～一日も早い接種を目指した取り組みについて」
講演会 於：日本人会本館
- ・8 月 5 日 (木) 泰日協会 Board Meeting・年次総会 (ビデオ会議システム)
- ・8 月 6 日 (金) 日本人会・企画推進部会・三役会 (ビデオ会議システム)

2. 承認事項 (事務局)

(1) 名誉会員推薦について

日本人会規約第 2 章会員・第 5 条・3 項 名誉会員：本会に対し、特別な貢献のあった者で理事会において選ばれた者。

内規：①会長・副会長を歴任した者

②理事を 10 年以上歴任した者

③理事を歴任し、日本人会での活動が評価され、叙勲もしくは国・政府から表彰を受けた者

④その他、日本人会に特別の貢献のあった者

※理事引退後もタイに在住し、日本人会員となっていること

名誉会員になると付与されるもの・・・表彰状&記念品贈呈、会費免除、被選挙権の失効 (理事には立候補できなくなる)

- ・佐渡島史郎氏 元在タイ日本国大使 (2015~2019 年)

推薦理由>2015 年 4 月~2019 年 12 月まで日本人会名誉顧問として日本人会に貢献。特に日本人会チャリティー基金に対して深い理解を示され、絵画を寄贈頂きチャリティー基金に貢献頂いた。
(内規④に該当)

- ・伊藤周一氏 現・タイ日協会学校事務局長 元・Panasonic(Thailand)Co.,Ltd.

推薦理由>2004 年~2020 年 3 月まで 16 年間、日本人会理事として貢献いただいた
うち、副会長 2012 年 4 月~2014 年 3 月、2018 年 4 月~2020 年 3 月 (内規①②に該当)

→→異議なく承認され、会長より表彰状の授与が行われた。

佐渡島氏より「大変光栄です。今後も日本人会を盛り上げていきたい」とのコメントを頂いた。

伊藤氏より「今後は名誉会員として、日本人会の発展に尽くしたい」とのコメントを頂いた。

3. 一般報告

(1) 7 月度個人会員動向

入会者 59 名 退会 159 名 現会員数 5,209 名 (内、準会員 54 名 会友会員 212 名)
(前年同月 5,888 名・前年同月比 88%)

(2) 7 月度賛助会員

〈入会 1 社〉

- ・CRE (Thailand) Co.,Ltd. 倉庫業。

〈退会 1 社〉

- ・Besides Sports Co.,Ltd.

現会員数 536 社

(前年同月 583 社・前年同月比 91.9%)

(3) 会員優待店

- ・新規加盟 0 店舗、退会 0 店舗 現在有効店は 44 店舗
- ・休業されているレストランも多いことから事務局にて精査しているところである。

(4) 7 月度会館来訪者数

本館：34 名 (実数 23 名)

別館：359 名 (実数 185 名)

合計：393 名 (実数 208 名)

(前年同月 1,940 名 (実数 716 名) 前年同月比 20.3% (29%))

- ・8 月 2 日 (月) に発令された「バンコク都告示第 39 号」に従い、8 月 31 日 (火) までの会館利用サービスを停止する旨、8 月 16 日 (月) 付で通達を出した。
- ・本館職員が 1 名、新型コロナウイルス感染症に感染したことが確認され、当局の指示に従い、会館内の消毒を行うとともに 8 月 16 日 (月) ～20 日 (金) は本館を閉鎖。
- ・できる限り職員の在宅勤務を導入するため、本館は水曜、別館は火曜・木曜は事務局員不在としている。

【昨年の開館状況】

- ・2020 年 3 月 24 日 (火) より全ての会合、図書館利用、部会同好会活動などの会議室利用を中止。3 月 28 日 (土) ～4 月 30 日 (木) まで、日本人会食堂「The Japan」の完全休業。3 月 31 日 (火) より、夜間外出禁止令発令のため事務局の時短運営 (9 時～15 時・土曜日休館)。4 月 16 日 (木) ～5 月 6 日 (水) まで、別館を閉鎖、5 月 7 日 (木) より時短で別館窓口再開。6 月 1 日 (月) より別館一般図書館再開と部会の会議室利用再開。6 月 15 日 (月) より人数制限の上で会議室利用再開 (打ち合わせのみ)。7 月 1 日 (水) より窓口受付を平常時通り再開。

(5) 7 月度会計報告

- ・7 月度収入は、130 万バーツ、(前年同月 209 万バーツ 前年同月比 62.3%)
- ・7 月度支出は、177 万バーツ、(前年同月 230 万バーツ 前年同月比 77.2%)
- ・単月収支は、-47 万バーツ (前年同月 -21 万バーツ 差額 -26 万バーツ)
- ・累計収支は、3 万バーツ (前年同月 -41 万バーツ 差額 44 万バーツ)

(6) その他報告 (事務局)

- ・8 月の主な会議日程と各同好会・部会など主な行事日程を確認した。
- ・7 月 27 日 (火) に運営協力した在タイ日本国大使館主催オンライン説明会の実施報告。本館より配信し、2,000 名強の方にご参加頂いた。
- ・イベントの動員数 (日本人会オンライン事業指数) を報告。直近 3 か月で 4,500 名の動員と、昨年度と比較して大幅に増加。

(7) アジア域内事務局長会議 8 月 7 日 (土) に開催された会議について報告

- ・アジア域内 12 拠点の日本人会の事務局長会議 (例年は各地の拠点で開催しているが、昨年到现在もオンライン会議となった)
- ・共通の課題は以下の通り：邦人のワクチン接種機会の遅れ、邦人の帰国による会員減少、会費値上げの実施・検討、大型イベントの見直し、HP・SNS・会費のクレジット払いなどのオンライン化、理事会組織のダイバーシティ

- ・外務省支援プロジェクトに事業申請しているのは、タイ、シンガポール、マニラの3拠点のみ

4. 情報共有/日本政府プロジェクト バーチャルラン企画

- ・目的：在タイ邦人のコロナ感染予防と心身の健康増進。運動不足による健康二次被害を予防。
『微笑みの国を歩いて、走って旅気分！Virtual Fun Run in Thailand』
副題『梨田大使と共に歩こう！走ろう！』
- ・開催の意義：在タイ日本人社会のハブとして、日本人会の存在アピール→会員増へ
- ・方法：オンライン上の地図を活用し、10月1日（金）～31日（日）の1カ月間で50km（プーケット島内）もしくは100km（バンコク～アユタヤ）を歩く・走る
- ・集客目標は1,000名（各コース500名）。Dear Life様のご協力で事前セミナーを実施し、セレッソ大阪の森島社長やコーチ陣を講師に招き、正しいストレッチ法や走行時の正しい姿勢などをレクチャー&イベント告知。
- ・告知：日本人会やJTBのSNS、HP、LINE、各フリーペーパー、タイ在住ブロガーやランニングコミュニティからの情報発信。理事会社にも協力を依頼。
- ・参加賞以外にも魅力的な景品を贈呈したい→会長より、理事会者の皆様へ協賛品や寄付金の協力を依頼
- ・走行距離を測るだけではなく、途中のチェックポイントを観光・体験できるような仕掛け（JICAとの協力）
- ・9月よりイベント告知開始、中旬から申し込み開始（&参加賞の発送）、11月に結果発表と商品の発送
- ・タイ人の参加者数が日本人の参加者数を上回るのは規定に反する
- ・太田理事より、パナソニック商品ご提供の意思あり（内容は9月の告知時にわかればありがたい）
- ・加藤理事より、SNS発信用のハッシュタグを付けては？との提案があった。

5. 各部・各委員会報告及び提案等（発表順）

（1）チャリティーバザー実行委員会（福田理事）

- ・7月14日（水）「コロナ禍におけるボランティアとコミュニティ支援」（日本政府支援イベント）として、オンラインにて、チャリティー団体支援先を紹介するイベントを開催。
（虹の学校、アークどこでも本読み隊、Wat Arun Community Learning Centerを紹介）
参加者は57名だったが、内容については非常に満足度が高いイベントとなった。

（2）教育部（田中理事）

- ・8月6日（金）の三役会にて協議した結果、2021年度第2回英検（一次試験10月9日（土）・10日（日）・二次試験11月7日（日）開催）は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により安全な受験は大変困難だと判断し、中止を決定。
- ・2021年度第1回英検に申し込んだ方への優先申込みや受験資格延長などの措置あり。

（3）事業部（日高理事/日高洋行）

- ・内堀堂守の7月の活動を報告
ワットリアップの活動に9回参加、納骨堂堂守としての供養を2回実施して頂いた。
- ・9月23日（木）17時より、日本人会納骨堂秋季法要を開催（法要後の座談会は中止）予定
※9月6日（月）の状況によって、開催可否を判断したい。
- ・2021年度の敬老の日祝賀会は、現在の感染状況を鑑み、一堂に会しての式典開催は難しいと判断した。また、瀧川福祉基金との共催とはせず、日本人会より希望者へ記念品をお渡しするのみとす

る。

(4) 青少年部 (日高理事/日高洋行)

- ・7月にオンラインで活動したサークルは、演劇、剣道、ブラスバンドの3サークル。ブラスバンドは日本人学校から楽器を貸出してもらえたお陰で活動が可能となった。
- ・8月も演劇、剣道、ブラスバンドのみがオンラインで活動予定。
- ・コロナ禍で帰国が増え、どのサークルも部員減。1学期には18名分のサークル活動証明書を発行。
- ・帰国に伴いサークル指導者が減る中、ブラスバンドサークルには指導者、1名追加あった。

(5) 運動部 (岩本理事)

- ・7月29日(木) ヨガ同好会主催のZOOMエステ開催。講師は、同好会メンバーの小野由紀子氏。17名の参加で、好評だったので、9月22日(水)に第2弾を開催決定。

(6) クラブ部 (土田理事)

- ・図書館や会議室の利用できない状況が続いており、家賃交渉の結果、8月分家賃は、30%の減免となった。

(7) 広報部 (富永理事)

- ・フリー誌広告は、ダコ、ニコラボ、ワム、パノーラ、バンコクポータルサイトの5誌に広告を掲載
- ・オンラインイベントの告知により、ホームページアクセス数は増えている(前年度比・前月比ともに増)。特にワクチン接種に関する情報へのアクセスが多かった。
- ・7月のホームページアクセス状況は、訪問数24,881 閲覧数52,553 前年同月比、訪問数240.7%、閲覧数177.2%。前月比は、訪問数154.8%、閲覧数142.5%。タイからの訪問数は79.1%、日本からは17.6%。前月と比較し、タイからは60%、日本からは47%増加している。

- ・LINEは20回の配信、登録者は前月より268名増加し、5692名(有効者数3,930名)
- ・Facebookは67回の投稿、登録者は前月より161名増加し2585名。フジスーパーリニューアルがリーチ数最多となった。
- ・インスタグラムは13回の投稿、登録者は前月より21名増加し、1083名。フジスーパーリニューアルがリーチ数最多となった。

(8) 会報部 (富永理事)

- ・クルンテープ誌連載の小河修子氏によるタイ菓子に関するセミナー開催。
参加者51名。バナナのお菓子をテーマにタイの方とバナナの繋がりについて紹介してもらった。

(9) 企画推進部 (富永理事)

- ・7月23日(金)賛助会員企業でもあるオンラインタイ語学校JTCAとの共催で「タイのスマホアプリを使ってみよう」を開催。ステイホームの状況のなか、よりよく使いこなすにはという内容に加え、簡単なタイ語講座もあり、有益だった。
- ・7月31日(土)『日本でのワクチン接種の現状～日本で接種できるワクチンの解説と国産ワクチン開発状況』(日本政府支援イベント)を開催した。講師は、長谷川秀樹氏(国立感染症研究所インフルエンザ呼吸器系ウイルス研究センター/センター長)で、223名が参加。「ワクチンを開発されている方からのお話しによって、随分不安が解消された。」などの感想を頂き好評であった。
- ・8月3日(火)「サミティベート病院 南先生に聴く『コロナ下での子育て』」(日本政府支援イベント)を開催した。講師はサミティベート病院・小児科・新生児科専門医。インフェクションコント

ロールドクターの南宏尚氏。194名が参加。事前アンケートを基に、コロナ下での子育ての悩みやコロナウィルスについて説明。

・8月10日(火) コロナ禍に負けない!人と繋がるコミュニケーションセミナー第1回「子どもの自立と親の自立、それを可能にするコミュニケーションについて」(日本政府支援イベント)を開催した。講師は、キャリアサポーターズ代表取締役 浅野衣子氏、62名が参加。日々のコミュニケーションの中で、子どもが自立するように関わっていくことや、子どもが将来のことを考えていくための関わり、コミュニケーションのポイントについてお話し頂いた。

・8月19日(木)『幼稚園・ナーサリー合同説明会』を開催予定。74名の申込を頂いている(8月16日(月)時点)

・8月24日(火)精神科医による コロナ禍におけるメンタルヘルス「ストレスとの付き合い方 ～ストレス・コーピング～」(日本政府支援イベント)を実施予定。講師は、東京工業大学・保健管理センター教授、安宅 勝弘 氏。すでに定員の100名を達成している。

・YouTubeチャンネルに各セミナーなどの動画を掲載。特にワクチンに関する動画の再生回数が多く、7～8月の1か月で+200名の登録者増。チャンネル登録者は388名となっている(8月16日(月)時点)

(10) 食堂運営委員会(石井理事)

- ・7月は1か月間休業。
- ・8月10日(火)、従業員2名のコロナ感染を確認。全従業員に対して検査したところ、その他従業員は陰性の確認ができた。当局の指示では3日間の閉鎖を命じられたが、大事をとって月末まで閉鎖することを決定した。

(11) 大使館代表(松前領事部長)

- ・反政府集会参加者の暴徒化で、催涙弾やゴム弾、実弾使用の可能性も報道されている。日本人若者がYouTubeにアップしているのが確認されており、危険な地域へ近づかないよう注意して頂きたい。

(12) バンコク日本人学校(谷口校長)

- ・一時帰国約270名(バンコク戻りは未定)、本帰国約280名、9月からの入学が約70名。今年度初めは2350名でスタート→1割強が帰国。
- ・日本人学校のオンライン授業を日本に配信できない(法律・著作権の問題)という問題があり、たくさんの方からご意見を頂いているが、できるだけ善処していきたい

(13) 国際協力機構(JICA)(森田所長)

- ・8月2日(月)タイ国鉄レッドライン開所式が開催された。コロナ明けには日本人会のスタディツアーの視察先にできればと考えている。

(14) 事務局報告

- ・9月の会議日程を確認した。

6. 7月度理事会議事録承認

——> 異議なく承認された。

7. 理事会出席者(敬称略、順不同)

・島田会長、荻原、田中、福田、加藤（三井）各副会長、加藤（トヨタ）、太田、日高（丸紅）、小田原、吉田、桐生、岩本、土田、竹井、日高（日高洋行）、富永、重松、金子、石井各理事、朽木、大竹各監事、松前大使館代表、谷口日本人学校校長、森田 JICA（国際協力機構）所長、石川 JETRO（日本貿易振興機構）代表、坂本 JCC（商工会議所）事務局長、高橋報道代表、西岡タイ情報誌制作代表、事務局（熊本・安達・松田）